

ク ロ シ オ KUROSHIO HGX



オフショアスピニングリールとして人気を確立したクロシオシリーズにハイギアモデルが登場。シイラ・ブリ・カツオ・マグロまであらゆるオフショアキャスティングゲームをフォローする4サイズをラインナップ。安心のドラッグパワーと安定感、ボディの剛性、スプール&ハンドルデザインに至るまで各パーツをオフショアゲームのためにチョイス。テイルウォークならではのエッセンスが詰まっています。



※53HGX&63HGXはキャスト時に不意なベールの返りを防止する「マニュアルベール仕様」です。巻き上げに移行する場合は手でベールを返して下さい

SPEC

品名	ギア比	自重	最大ドラッグ	PE糸巻量	ベアリング	最大巻き取り長さ(ハンドル1回転)	本体価格
33HGX	5.8:1	530g	14kg	3号・300m	7BB+1RB, ANTI-RUST BB	100cm	21,000円
43HGX	5.8:1	535g	16kg	4号・300m	7BB+1RB, ANTI-RUST BB	102cm	22,000円
53HGX	5.4:1	760g	18kg	5号・350m	7BB+1RB, ANTI-RUST BB	116cm	23,000円
63HGX	5.4:1	765g	20kg	6号・350m	7BB+1RB, ANTI-RUST BB	116cm	24,000円

その他の仕様: "DFD" デュアルフォースドラッグシステム / "MSS" メカニカルスタビライジングシステム / デュアルアンチリバーシステム / "HDG II" ハイデンシティギア / "HPB" ハイパフォーマンスベアリング / "RES II" ローターイコライジングシステム / "EFR II" イーブンフロートラインローラーシステム / テイルウォークオリジナルスプール

テイルウォーク Nakachaaan!



舞台裏VOICE

KUROSHIO HGX——噂の2万円台! オフショアスピニング出たっ!!

撮影文/ 中村宗彦 (なかむらむねひこ)
株式会社エイテックのルアーブランド「テイルウォーク」の企画開発マネージャーとして国内外を飛び回る。仕事柄あらゆるルアーフィッシングに挑戦し、大好きなバスフィッシングでは大会で数々の実績を持つ一面も。ハンドルネームは「Nakachaaan!」。



テイルウォークのアイテムはどれも明確なコンセプトがあり、それぞれに心をくすぐられるメッセージが込められている。このコーナーでは開発担当のNakachaaan!が、ブログでは紹介しきれないレアな話や開発の舞台裏を限界トークでお届け。今回語るのは、オフショアキャスティングゲームに最適な「KUROSHIO HGX」について。

Nakachaaan!のそこまで言うの?

選りすぐりの質問にお答えします!

10周年を迎えたテイルウォークは、もうすぐ上半期が過ぎようとしています。そこで今回はイベント会場やSNSで寄せられた質問のなかから選りすぐりの二つにお答えします。

Q 夏に向けてのトピックはありませんか?

A あります! ショアジギングロッドとして好評を頂き店頭から姿を消した(申し訳ありません)MANBIKA(マンビカ)シリーズがバージョン2としてリニューアルすることが決まりました! 定番アイテムとして人気があっただけに迷ったのですが……。「良い所はもっと伸ばしましょう!」というコンセプトで細かな部分を調整しています。6月くらいには店頭に並び予定なので、またこの連載で改めてご紹介しましょうね。



マンビカのバージョン2のプロト。100XH、110XH、100XXH、110XXH、120XXH、126XXHの計6アイテムを予定しています。どうぞ楽しみに!

Q SNSで見ました。海外でも鯛ラバが流行っているんですか?

A そうなんです。2015年10月号でご紹介した通り、鯛ラバロッド「TAIGAME TZ」をスペインにまで持ち込んだだけありますね(笑)。当時はベイトリールの使い方が分からない人が多かったのですが、簡単に誰にでも楽しめることを知った友人が鯛ラバを広めてくれています。マダイの親戚のような魚をガンガン釣ってますよ。向こうからも鯛ラバについての質問のメッセージが多数寄せられています。時差もあるので当然こちらは夜中ですが……(笑)。カンタンで楽しい釣りがウケるのは世界共通。そのうちスペインの青い海と青い空の下に、鯛ラバロッドを持ったワタシの銅像が建つことを祈って下さい(爆)。

スペインの友人からメッセージとともに送られてきた写真。マダイみたいでしょ? 鯛ラバロッドを持つ手もサマになってきました。いろいろ考えながら楽しんでくれてるようです



通りハイギアモデル。ハンドル1回転で100〜116センチの糸巻き量です。2万円強という、手軽な位置付けにありながらも本格的なスペックを盛り込み、小型リールをサイズアップしただけではない完全オフショア専用設計がコンセプトです。大口径ドラッグをスプール内部に搭載。ワッシャーは滑りだしをスムーズにするフェルトと、パワーゲームでもしっかり抑えていくカーボンディスクのコンビネーション。大きなドラッグ力で安定します。

ドラッグノブは、アルミ製で耐熱・防水性に優れており溶けたり変形したりしません。細かいピッチで調整が可能。洗練されたデザインもクールです。スピニングリールの命でもある剛性を優先し、アルミダイキャストボディを採用。メインギア付近の軸受けはスタビライザーで補強しています。様々な角度から加わる力に対し、弱いとされるボディの欠点をフォローするアイデアを盛り込みました。ローターの逆転を防ぐため、ローラーベアリングとラチェット式のダブルで防止するシステムになっているので、ハードでトリッキーなハンドル操作にも耐えてくれます。

ハンドルノブは、力を込めて握り締めることを繰り返しても手やファイティンググロブに優しいプレインな形状。あらゆる細かいことに配慮した作りになっています。以前にこの連載でもご紹介させて頂いた通り、テイルウォークがラインナップするリールは世界的シェアを持つ信頼ある提携ファクトリーとの共同開発。HGXシリーズのベースになったモデルは、既にパワーゲームの本場アメリカでの耐久テストに耐えてきたモノです。ドラッグ性能やスプール、ハンドル形状の実用的デザインなど「フルドスタンダード」に、ニッポンのオフショアゲームに向けたテイルウォークの味付けを盛り込んで、皆さんにお届けしているというわけです。



今シーズンこそはオフショアゲームをやってみよう!と考えている皆さん。6月になると開幕のニュースが届くはずですよ。「SALTYSHAPE DASH OFFSHORE CASTING S70M」と「KUROSHIO33HGX」でシイラ釣りから挑戦してみたいいかがでしょうか?

4月は神奈川県芦ノ湖で趣味のバスフィッシング、静岡県沼津沖でテストを兼ねた鯛ラバゲーム、そして海外出張。更には「ルアーフェスタ in 仙台」の出展と充実した日々を送りました。釣りのほうは黒星ムードが一転。魚が釣れるという出来事が立て続けに起こり、厄明けを実感しています。

さて、楽しいバスフィッシングとマダイ釣りが一段落するといよいよオフショアのジギングやキャストインクゲームのシーズン到来。そこで今回はオフショアゲーム用のスピニングリール「KUROSHIO HGX」を紹介致します。例えばバス釣りではルアーに合わせてフックやライン、ロッドなどタックルバランスを変えた途端にデカバスがバクッと食ってくれたり、鯛ラバではラスト1投で本命のマダイがきてくれたり。その翌週には、帰港まで残り8分で釣れてくれたり……。良い意味で調子に乗っていきたくないものです。

世界のアングラマーが愛用する オフショアスピニングリール

キャストインクゲームに最適なハイギアモデル!

テイルウォークは好評発売中のギア比4.6の「KUROSHIO 43PG」というオフショア用スピニングリールがあります。オフショア界のレジェンドで、テイルウォークの看板テスターでもあるチャーマス北村氏を始め、ジギングエキスパートの大澤康広氏、静岡県浜名湖&遠州灘の遊漁船「クルーズ」の岡田昌彦船長といったテイルウォークのテスターを務めるベテランからビギナーの方まで国内外を問わず幅広い層から支持されています。無骨で荒削りな感じではあるものの、ブリやヒラマサのジギング用としての実戦性能と、2万円という手軽さがウケています。純粋に道具としての機能を果たしてくれるので釣り人だけでなく、漁師さんにも、そして世界中からも好評を博しているようです。そんなKUROSHIOに新たな提案を!というテーマで今年の目玉として登場するのがキャストインクゲームに最適な「KUROSHIO HGX」シリーズ。ラインナップは33HGX、43HGX、53HGX、63HGXの4アイテムで、シイラやカツオ、ブリ、ヒラマサ、マグロまで対応。43PGとの違いは「HGX」の名前の



トップゲームで仕留めた美しいヒラマサ。KUROSHIO HGXシリーズはキャストインクゲームに照準を合わせたハイギア仕様です(写真のリールはプロトタイプですのでデザインが違います)